

＜報道発表資料＞

カテゴリー:お知らせ

令和7年11月25日

ムジナモが県内希少野生動植物種に指定されました

アナグマなど「ムジナ」の尾に形が似ていることから名づけられた「ムジナモ」は、野生で姿を見ることができない「野生絶滅」状態が長く続いていましたが、保全活動に取り組む多くの方々の努力の結果、全国でも珍しい野生復帰を果たしました。

このムジナモを保護・保全していくため、県条例に基づき「県内希少野生動植物種」に指定します。条例に基づく新たな種の指定は24年ぶり23種目です。

● ムジナモの指定理由

- ・関係者による地道な保全活動により、野生絶滅から野生復帰を果たした本県初の事例となります。
- ・ムジナモ自生地の環境変化により再び野生絶滅となるおそれがあり、保護する必要があることから、県内希少野生動植物種に指定されました。

● 施行日

- ・令和7年12月1日

【参考1】県内希少野生動植物種とは

- ・人為的影響で存在に支障をきたしている野生動植物を保護・保全するため指定するもの。
- ・指定された動植物種を捕獲・採取等するには届出が必要となり、届出をせず捕獲等をした場合には罰則が適用される。

【参考2】ムジナモとは

- ・モウセンゴケ科ムジナモ属の食虫植物で、沼や水田などの水面に生息する。
- ・1890年に江戸川河畔で牧野富太郎氏により発見され、県内では1921年に羽生市三田ヶ谷の宝蔵寺沼付近で発見された。
- ・1966年、「宝蔵寺沼ムジナモ自生地」は国指定天然記念物になる。



[写真提供：羽生市]

【県内希少野生動植物種 指定種一覧】

	科名	種名	指定年月
動物種3種	イモリ科	アカハライモリ	H12年12月1日
	トゲウオ科	ムサシトミヨ	H12年12月1日
	フシダカバチ科	ソボツチスガリ	H12年12月1日
植物種20種	デンジソウ科	デンジソウ	H12年12月1日
	ウラボシ科	アオネカズラ	H12年12月1日
		キレハオオクボシダ	H12年12月1日
	スイレン科	オニバス	H12年12月1日
	ウマノスズクサ科	タマノカンアオイ	H12年12月1日
	ユリ科	ミヤマスカシユリ	H12年12月1日
	ラン科	ムギラン	H13年12月1日
		ホティラン	H12年12月1日
		コクラン	H12年12月1日
		ムカデラン	H12年12月1日
		トキソウ	H12年12月1日
	カヤツリグサ科	トダスゲ	H13年12月1日
	モウセンゴケ科	ムジナモ	R7年12月1日
	ナデシコ科	イトハコベ	H13年12月1日
	サクラソウ科	サワトラノオ	H13年12月1日
		チチブイワザクラ	H12年12月1日
		サクラソウ	H12年12月1日
	リンドウ科	チチブリンドウ	H13年12月1日
	ゴマノハグサ科	キタミソウ	H12年12月1日
	キク科	キバナコウリンカ	H12年12月1日